

# 防災活動等支援事業

## 1 九州防災エキスパート会支援事業

九州防災エキスパート会は、九州地方整備局のOBで組織している災害支援のボランティア団体です。

これまで培ってきた防災の知識・技術を生かして、災害時には現場に出動し復旧工法の指導などを、また平常時には防災担当者や水防団などを対象に出前講座や水防工法の

指導などを行っています。

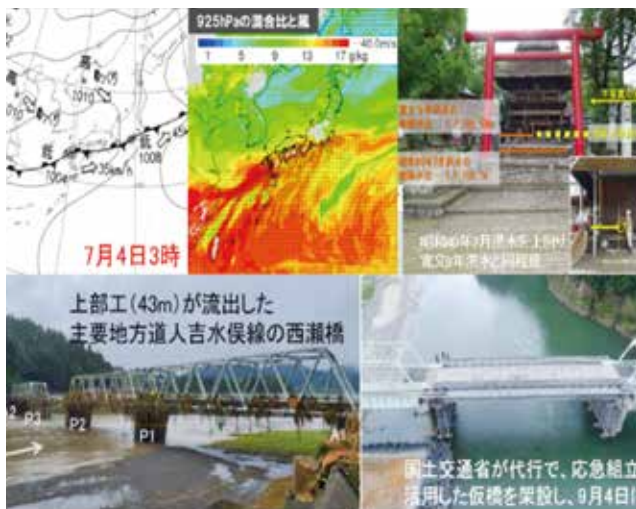
令和2年度は、新たに39名の新会員が加わり、令和3年3月現在、会員数461名となっていますが、近年の災害の激甚化・頻発化等より、エキスパート会に求められる役割や活動内容も変化しており、現在、当会の組織と活動内容の見直し検討を進めています。

### 1. 令和2年度の災害と出動

#### —令和2年7月豪雨・球磨川の大雨—

7月3日から4日にかけて、熊本県南部に停滞していた梅雨前線を小低気圧が通過し、この低気圧に向かって暖かく湿った空気が流入したため、4日未明から朝にかけて球磨川流域で、12時間に400ミリを超える雨が降りました。

川辺川との合流点付近から下流にかけて、いたるところで浸水被害や家屋倒壊が発生するとともに、球磨川本川では2箇所の堤防決壊、橋梁17橋の流出など国道や鉄道などに甚大な被害が発生しました。



#### —令和2年7月豪雨・筑後川の大雨—

7月6日から8日にかけて、対馬海峡付近に停滞していた梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、九州北部の広い範囲で大雨特別警報が発表され

る大雨になりました。

筑後川上流部で、48時間に800ミリを超える雨が降り、筑後川本川の小淵・荒瀬・片ノ瀬の3観測所で観測史上最高水位を記録しました。護岸の崩壊などの被害が複数確認されましたが、球磨川のような大被害に至らなかったのは幸いでした。

道路関係では、筑後川水系玖珠川沿いの国道210号日田市天瀬町赤岩地区などで甚大な被害が発生し、8月17日まで通行止めになりました。



#### —令和2年7月豪雨・エキスパート会の活動—

7月4日に八代・熊本の両事務所より待機要請があり、5名の会員が対応し、更に7月6日～9日には、8事務所から出動要請があり、延べ40名の会員が対応しました。

#### ○球磨川支援

7月3日からの梅雨前線豪雨により、上流域の人吉市街部で大規模な浸水被害が発生し、球磨川の堤防が決壊・越水し、橋梁が流出するなど、大規模な被害

が発生したため、災害査定資料作成に係る技術的指導の支援要請があり対応しました。

### ○筑後川支援

7月7日に発生した久留米市北野町金島の筑後川堤防裏の水田からの自噴の際、現地で2名の会員が月の輪工法の指導にあたりました。



球磨川支援の状況



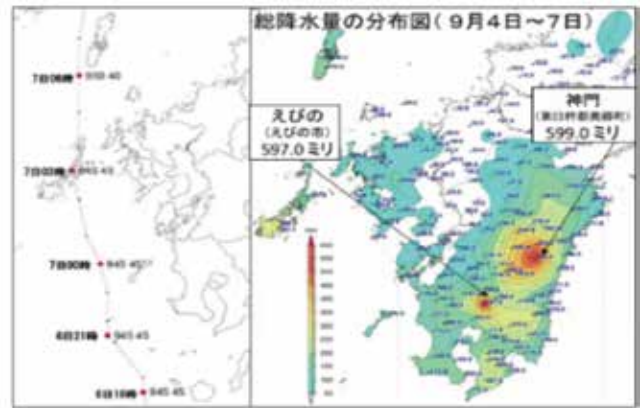
久留米市北の町金島堤防裏の水田より自噴7月7日10時50分

また、7月12日開催の国道210号対策検討委員会に、大分地区の春田会員が委員として参加し、技術的なアドバイスをを行いました。

### — 台風10号 —

令和2年9月7日の未明から明け方にかけて、中心気圧945hPaの勢力で九州の西岸を北上し、長崎市野母崎で最大風速44.2m、最大瞬間風速59.4mの強風が吹きました。

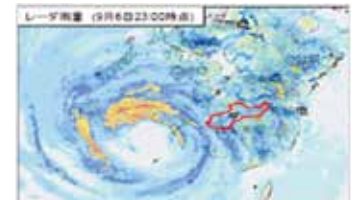
特別警報級の勢力まで発達し、九州全域で大きな



被害が出ると予想されていたため9月6日～7日に各地区の会員23名が事務所に詰めて対応しましたが、幸い雨量はそれほどでもありませんでした。

### — 台風10号・エキスパート会のダム管理支援 —

令和2年9月6日～7日に九州に接近した台風10号対応として、緑川ダム管理所と鶴田ダム管理所から支援要請があったため、当会より2ダムへ出動し、初のダム管理支援を行いました。



緑川ダム管理支援の様子

## 2. 防災活動

毎年、九州地方整備局の本局・事務所で行われる水防演習・洪水対応演習・道路防災訓練・地震防災訓練・堤防合同巡視などに参加していますが、今年は、新型コロナの悪影響を受け、5月17日に宮崎市で予定されていた大淀川・小丸川総合水防演習が中止になるなど、多くの行事が中止または規模縮小になりました。

また、11月25日には整備局本局・事務所の会議室を結ぶWeb会議方式により、地区リーダーも参加して、整備局との意見交換会を行いました。

更に、令和3年3月25日にもリーダー会議を開催し、当会の組織と活動内容の見直しについて意見交換を行いました。

## 3. 河川技術サポート会

### ○六角川支援

六角川水系における過去のすべり状況や地盤改良実績を踏まえ、今後の河川改修における注意点などのアドバイスについて意見交換及び現地助言を行いました。



六角川での合同現地調査

### ○大淀川支援

大淀川下流(宮崎市街部)の低水路掘削工事において、岩が露出してきたため、岩掘削の施工方法及び施工にあたっての留意点について助言するため、試験施工の合同現地調査及び意見交換を行いました。



大淀川での合同現地調査

### ○菊池川支援

令和2年7月豪雨で発生した菊池川左岸13/500付近の漏水(パイピング)について、発生要因や施工履歴等を基に現地調査及び意見交換が行われました。

また、被災箇所の応急対策についても、復旧工法や使用する資機材等の意見交換及び助言を行いました。



菊池川での合同現地調査

## 4. 道路技術サポート会

### ○福岡国道支援

西九州自動車道で唯一未事業区間の二丈～二丈鹿家間(L=11km)は、昨年度より計画段階評価の手續



意見交換の様子

きに着手し、今年度、さらに手續を進めるにあたり、当区間に関係の深い当会員より、当時の課題や議論された内容について意見を聞きたいという趣旨で開催されました。

### ○大隅河川国道支援

東九州自動車道の鹿屋串良JCT～志布志IC間(L=19.2km)は、令和3年夏頃の供用予定となっています。



現地合同点検の状況

今回、若手職員の技術力向上と今後の維持管理等に活かす事を目的として、切土高が15m以上の初回法面点検を事務所職員と大隅河川国道にゆかりのある当会員により、現地合同点検及び意見交換を実施しました。